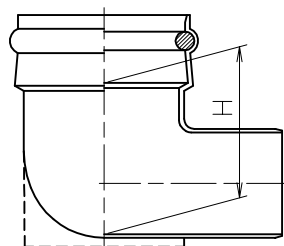
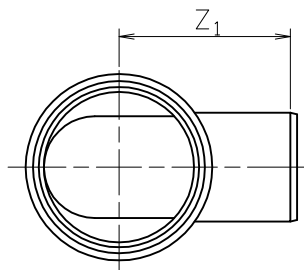


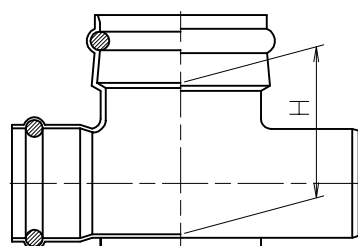
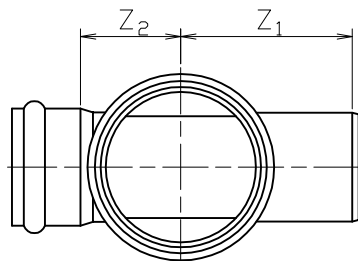
# 小型人孔（塩ビ製）構造図（1/3）

## （JSWAS K-9）

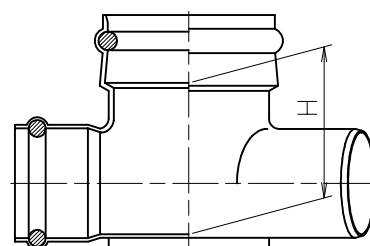
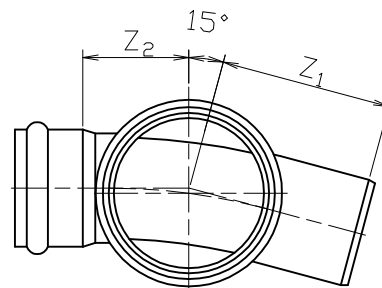
起点（KT）



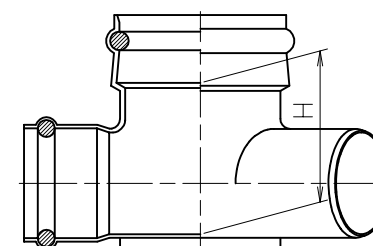
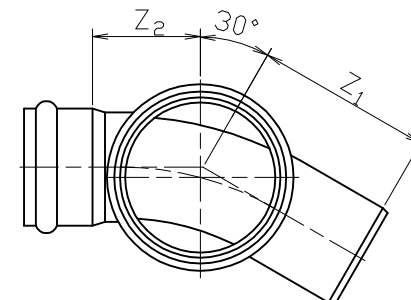
ストレート（ST）



15度曲り（15L）



30度曲り（30L）



呼び径		(mm)	
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	H (最小)
150-300		280	230
200-300		290	255
250-300		350	310

呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300		280	180	230
200-300		290		255
250-300		350	190	310

呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300		290	190	230
200-300			200	255
250-300		360	210	310

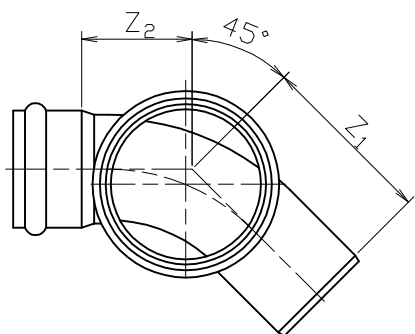
呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300		290	190	230
200-300			200	255
250-300		360	210	310

注・破線で示すように安定脚を設けてもよい。なお、その形状は規定しない。  
 ・流入側が自在受口の製品（JSWAS規格外）は使用可とするが、汚水の滞留には十分留意して施工すること。

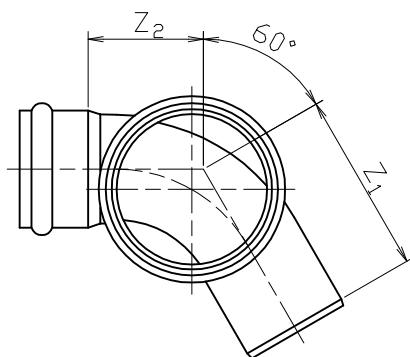
整理番号	2-2-010
作成年月日	2011,10,01

## 小型人孔（塩ビ製）構造図（2/3） （JSWAS K-9）

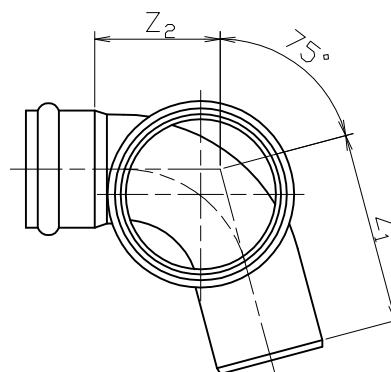
### 45度曲り（45L）



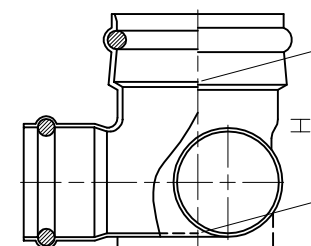
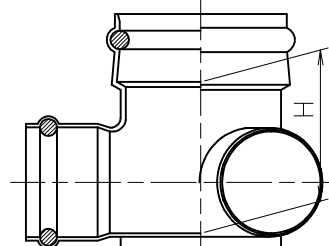
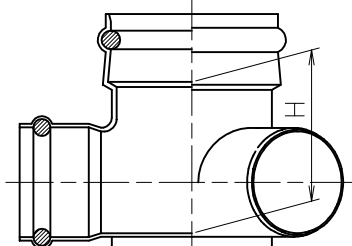
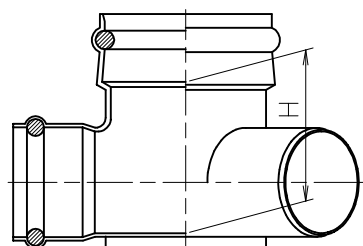
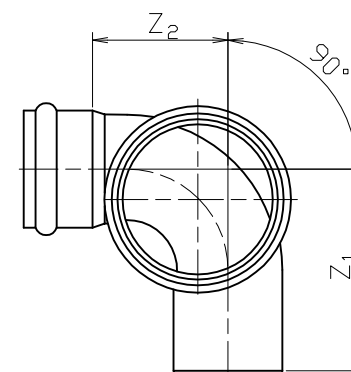
### 60度曲り（60L）



### 75度曲り（75L）



### 90度曲り（90L）



呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300	290	290	190	230
200-300			200	255
250-300	360	210	310	

呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300	290	290	190	230
200-300			200	255
250-300	360	210	310	

呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300	290	290	190	230
200-300			200	255
250-300	360	210	310	

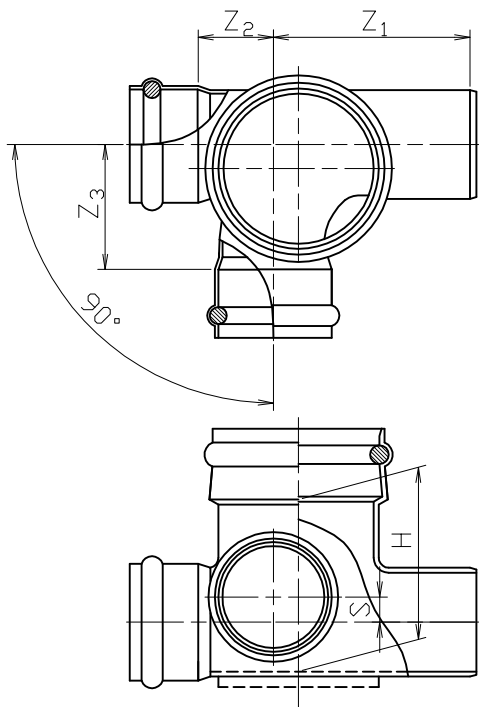
呼び径		(mm)		
管径	マンホール径	Z <sub>1</sub> (最小)	Z <sub>2</sub> (最小)	H (最小)
150-300	290	290	190	230
200-300			200	255
250-300	360	210	310	

注・破線で示すように安定脚を設けてもよい。なお、その形状は規定しない。  
 ・流入側が自在受口の製品（JSWAS規格外）は使用可とするが、汚水の滞留には十分留意して施工すること。

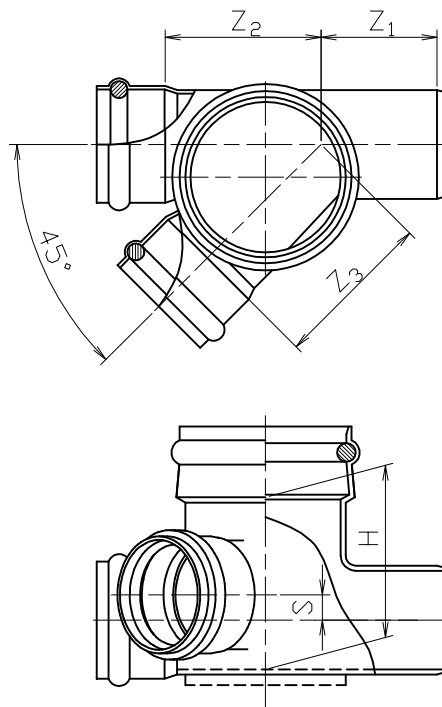
整理番号	2-2-020
作成年日	2011,10,01

# 小型人孔（塩ビ製）構造図（3/3） （JSWAS K-9）

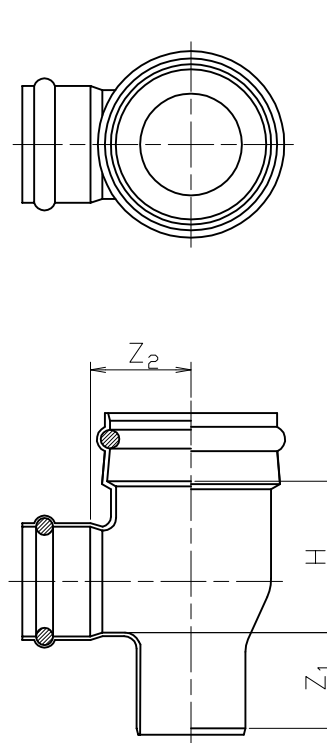
### 90度合流(90Y)



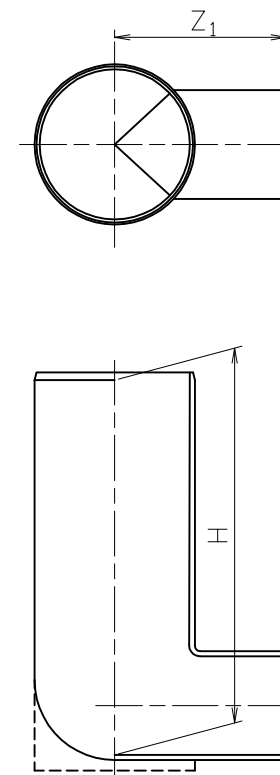
### 45度合流(45Y)



### ドロップ(DR)



### 起点形ドロップ(KDR)



呼び径		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	S		H
管径	マンホール径	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最大)	(最小)
150-300	320	140	210	15	55	230	
200-300			220				

※Sは20mmまたは50mmを標準とする。

呼び径		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	Z <sub>3</sub>	S		H
管径	マンホール径	(最小)	(最小)	(最小)	(最小)	(最大)	(最小)
150-300	200	270	270	15	55	230	
200-300			290			255	

※Sは20mmまたは50mmを標準とする。

呼び径		Z <sub>1</sub>	Z <sub>2</sub>	H
管径	マンホール径	(最小)	(最小)	(最小)
150-300	220	150	180	230
200-300				255
250-300				310

呼び径		Z <sub>1</sub>	H
管径	マンホール径	(最小)	(最小)
150-300	280	290	1100
200-300			1100
250-300			1300

注・破線で示すように安定脚を設けてもよい。なお、その形状は規定しない。  
 ・流入側が自在受口の製品(JSWAS規格外)は使用可とするが、汚水の滞留には十分留意して施工すること。

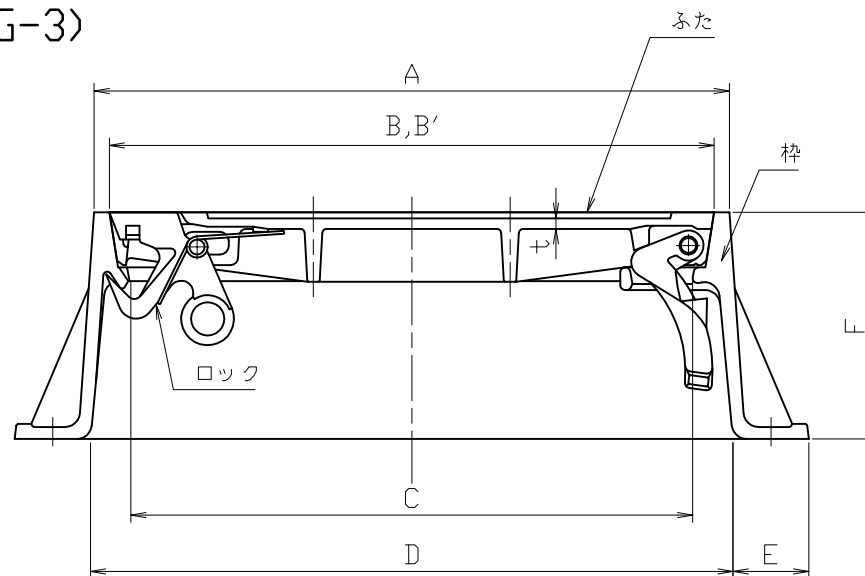
整理番号	2-2-030
作成年月日	2011,10,01

# 鑄鉄製防護蓋（小型人孔φ300用）

（JSWAS G-3）



おすい歩  
おすい歩



(mm)

種別	A (最小)	B, B' (最小)	C (最小)	D (最小)	E (最小)	高さ		t (最小)
						F	許容差	
T25A T14A	403	386	360	400	40	150	±2.5	6
T8A	403	386	360	400	20	150	±2.5	4

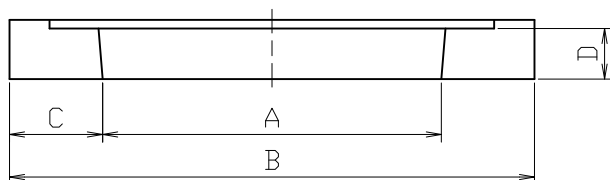
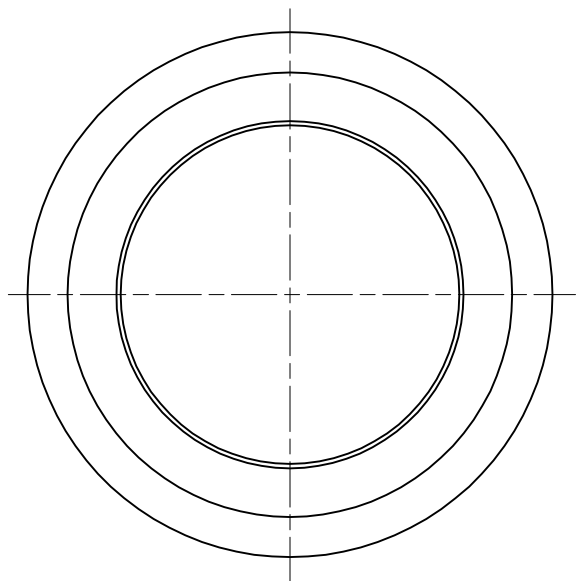
JSWAS G-3 標準型防護ふた T25A（重荷重用） T14A（軽荷重用） T8A（歩道・宅地内用）

- ・ふた及び枠に補強リブを設けた場合を示す。
- ・形状の細部については規定しない。
- ・Bはふたの外径，B'は枠の内径を示す。
- ・枠にアンカー穴を設ける場合は，3個又は6個とし，等ピッチで設ける。
- ・岡山市仕様の手鍵で開閉可能なロック機能を設ける。
- ・イニシャルは本市が製造メーカーに指示したものを記載する。

整理番号	2-2-110
作成年月日	2011,10,01

# 鋳鉄製防護蓋（小型人孔φ300用）付属品

台座  
(JSWAS G-3)

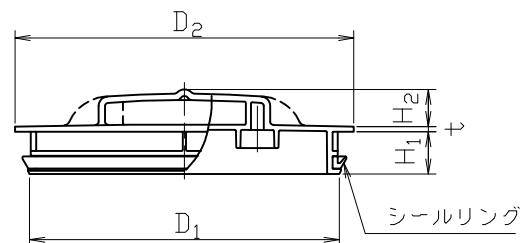
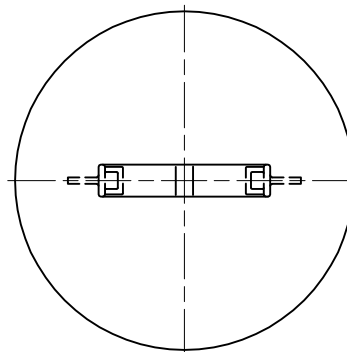


種別	(mm)			
	A (最小)	B (最小)	C (最小)	D (最小)
PB25A	330	570	80	55
PB8A	330	530	65	25

JSWAS G-3 標準型台座 PB25A PB8A

- ・形状の細部については規定しない。
- ・防護ふた据付け面の外周は、防護ふたのフランジ外周以上の寸法とする。

内蓋  
(JSWAS K-7)



(mm)				
D1 (最小)	D2 (参考)	t (最小)	H1 (最小)	H2 (参考)
291	318	4	25	40

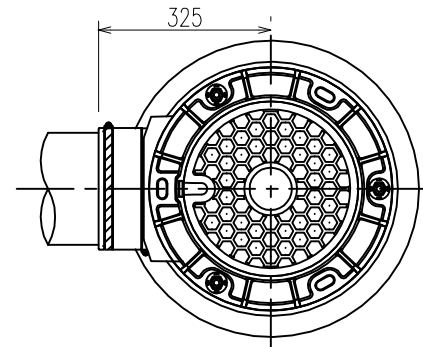
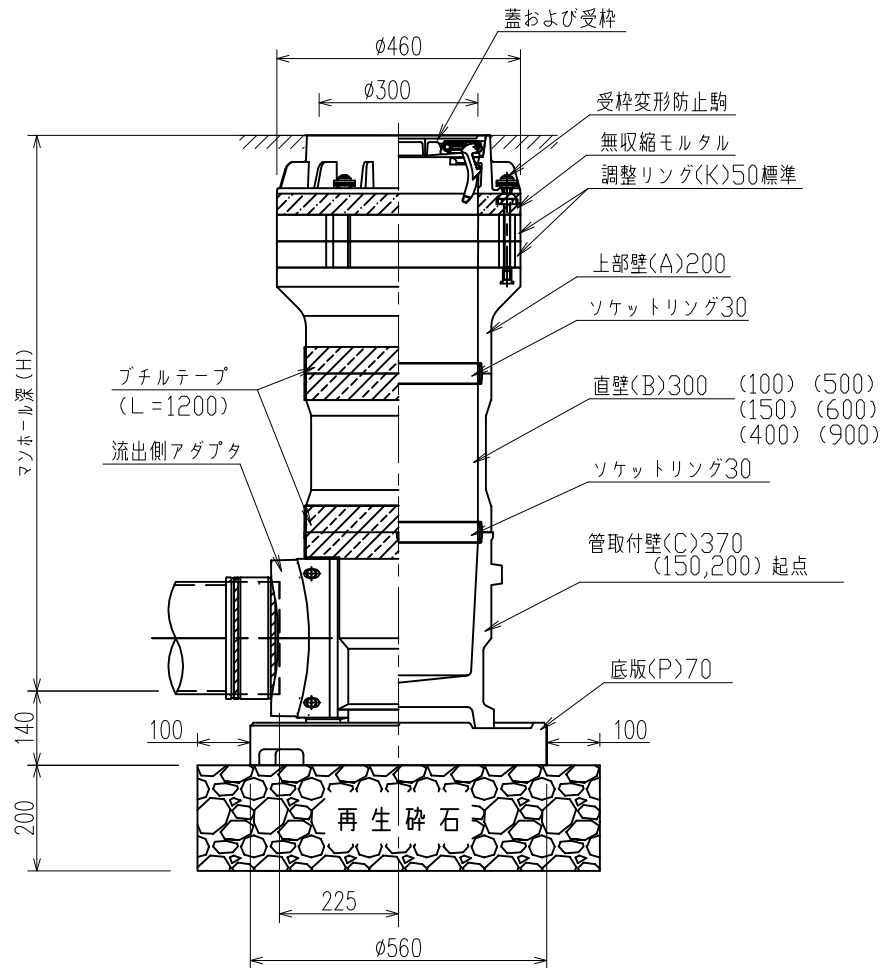
JSWAS K-7 内ふた CV-R

- ・シールリング及びその周辺の形状、寸法は規定しない。
- ・取手の形状は規定しない。
- ・破線で示す形状にすることもできる。

整理番号	2-2-120
作成年月日	2011,10,01

# 小型人孔（レジンコンクリート製）構造図（1/5）

## 起 点



## 起点

管きよ径	インバート
	タイプ名
φ150	管取付壁(C)370 (150) 起点
φ200	管取付壁(C)370 (200) 起点

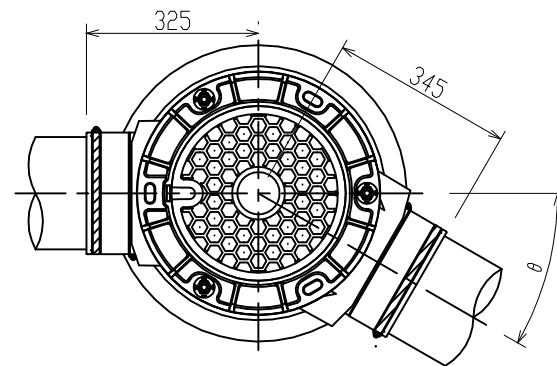
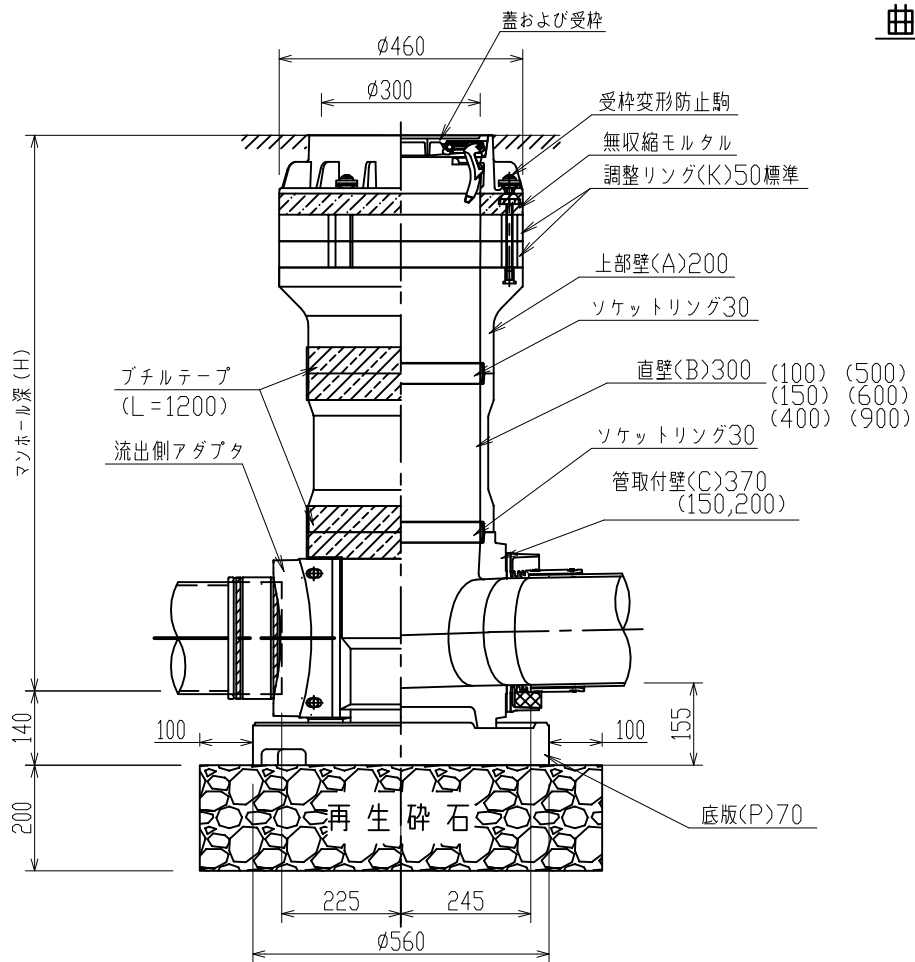
仕様：日本下水道協会規格品(JSWS K-10 下水道用レジンコンクリート製マンホール)

- 注) 1. 3.0%以上の管勾配の場合、自在管継手を使用すること。  
 2. 流出と流入の管径が違う場合、異径管ソケットを使用すること。  
 3. ヤリトリが発生する場合、ヤリトリ継手を使用すること。  
 4. 岡山市下水道局の承認を得た製品を使用すること。  
 5. 管の面取加工はしないこと。  
 6. 標準底板外径はφ560であるが、設置箇所が軟弱地盤であることが想定される場合、軟弱地盤用(φ750)を使用すること。

整理番号	2-2-210
作成年月日	2015, 02, 01

# 小型人孔（レジンコンクリート製）構造図（2/5）

## 曲点



管きよ径	インバート	可動角度(θ)
	タイプ名	
φ150	管取付壁(C)370(150)90/270°	90°(270°) <sup>+7.5°</sup> / <sub>(-7.5°)</sub>
	管取付壁(C)370(150)105/255°	105°(255°) <sup>+7.5°</sup> / <sub>(-7.5°)</sub>
	管取付壁(C)370(150)120/240°	120°(240°)±7.5°
	管取付壁(C)370(150)135/225°	135°(225°)±7.5°
	管取付壁(C)370(150)150/210°	150°(210°)±7.5°
	管取付壁(C)370(150)165/195°	165°(195°)±7.5°
	管取付壁(C)370(150)180°	180°±7.5°
φ200	管取付壁(C)370(200)90/270°	90°(270°) <sup>+7.5°</sup> / <sub>(-7.5°)</sub>
	管取付壁(C)370(200)97.5/262.5°	97.5°(262.5°) <sup>+7.5°</sup> / <sub>(-7.5°)</sub>
	管取付壁(C)370(200)105/255°	105°(255°) <sup>+7.5°</sup> / <sub>(-7.5°)</sub>
	管取付壁(C)370(200)120/240°	120°(240°)±7.5°
	管取付壁(C)370(200)135/225°	135°(225°)±7.5°
	管取付壁(C)370(200)150/210°	150°(210°)±7.5°
	管取付壁(C)370(200)165/195°	165°(195°)±7.5°
管取付壁(C)370(200)180°	180°±7.5°	

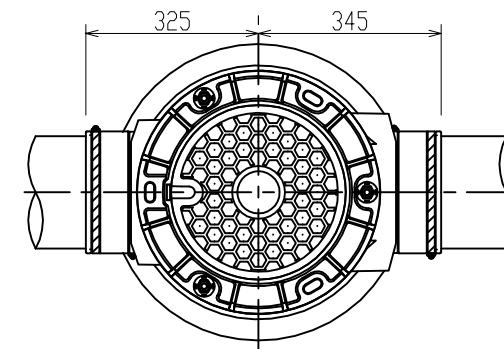
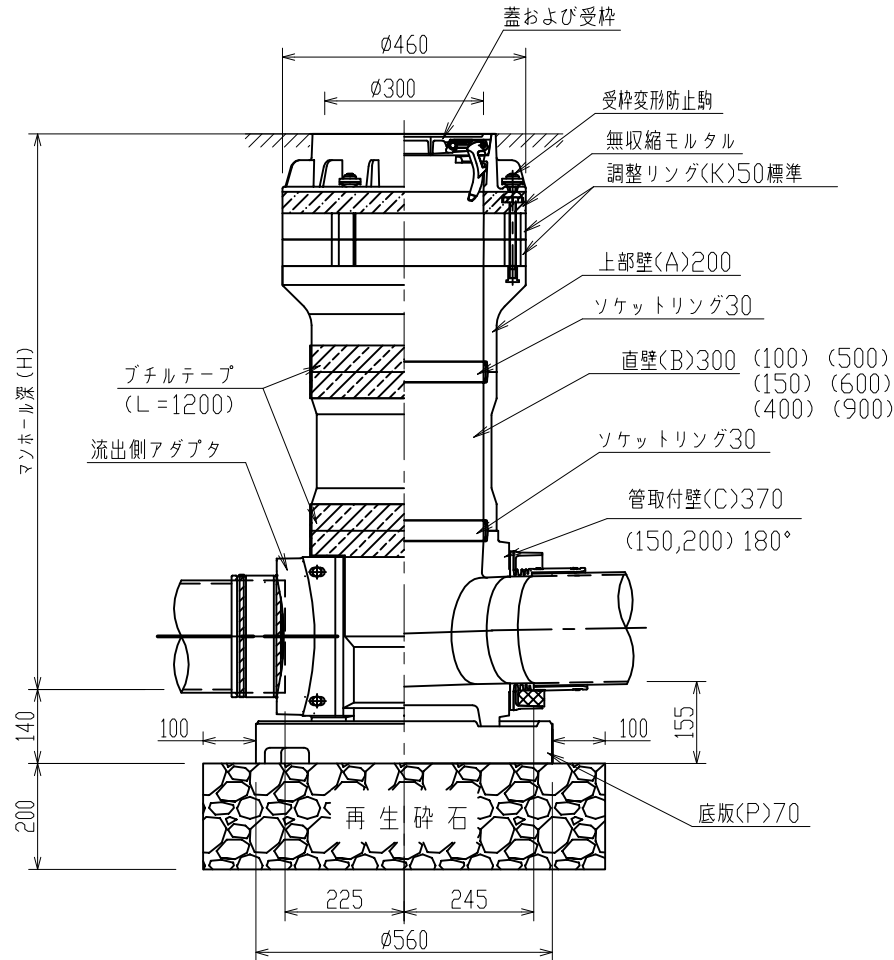
仕様：日本下水道協会規格品(JSWAS K-10 下水道用レジンコンクリート製マンホール)

1. 3.0%以上の管勾配の場合、自在管継手を使用すること。
2. 流出と流入の管径が違う場合、異径管ソケットを使用すること。
3. ヤリトリが発生する場合、ヤリトリ継手を使用すること。
4. 岡山市下水道局の承認を得た製品を使用すること。
5. 管の面取加工はしないこと。
6. 標準底板外径はφ560であるが、設置箇所が軟弱地盤であることが想定される場合、軟弱地盤用(φ750)を使用すること。

整理番号	2-2-220
作成年月日	2015, 02, 01

# 小型人孔（レジンコンクリート製）構造図（3/5）

## 中間点



管径	インバート
	タイプ名
φ150	管取付壁(C)370(150)180°
φ200	管取付壁(C)370(200)180°

仕様：日本下水道協会規格品(JSWAS K-10 下水道用レジンコンクリート製マンホール)

- 注) 1. 3.0%以上の管勾配の場合、自在管継手を使用すること。  
 2. 流出と流入の管径が違う場合、異径管ソケットを使用すること。  
 3. ヤリトリが発生する場合、ヤリトリ継手を使用すること。  
 4. 岡山市下水道局の承認を得た製品を使用すること。  
 5. 管の面取加工はしないこと。  
 6. 標準底板外径はφ560であるが、設置箇所が軟弱地盤であることが想定される場合、軟弱地盤用(φ750)を使用すること。

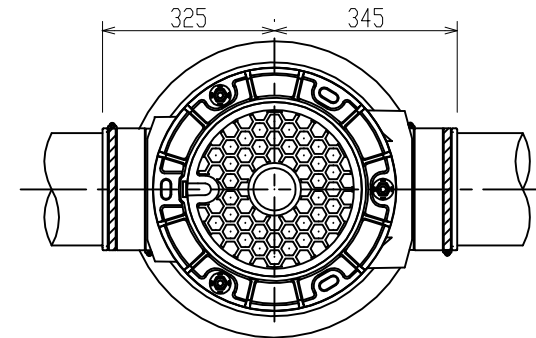
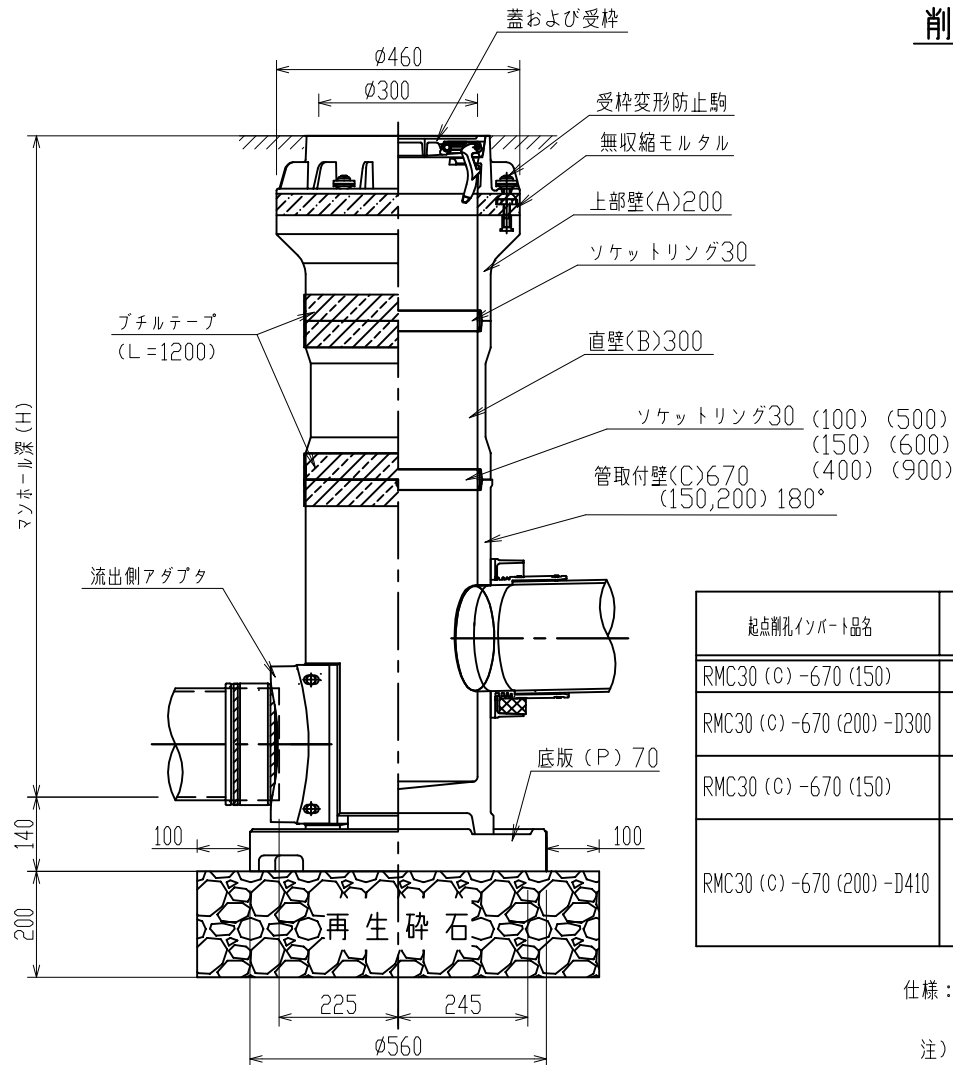
整理番号	2-2-230
作成年月日	2015, 02, 01





# 小型人孔（レジンコンクリート製）構造図（5/5）

## 削孔用



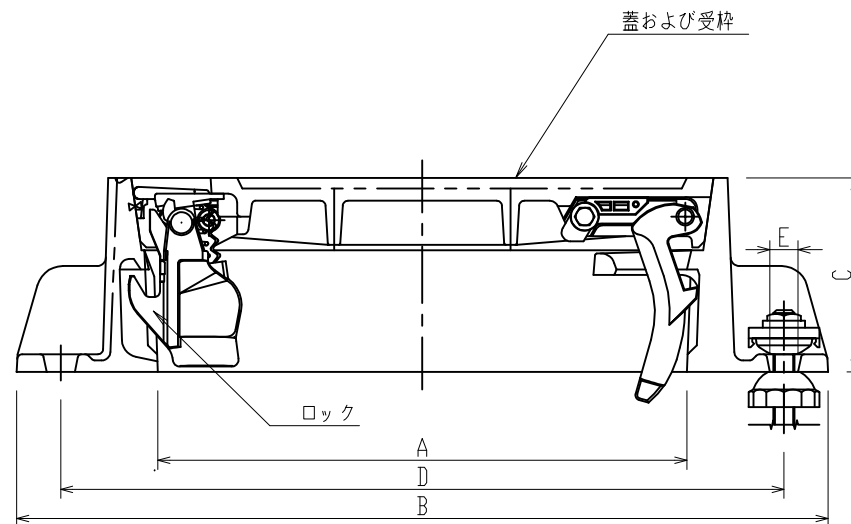
起点削孔インポート品名	流出管径	流入管削孔数	流入管径 No.1	削孔取付板品名	流入管径 No.2	削孔取付板品名	流入管底対称高さ (mm)	流入対称角度 (度)	流入管どうしの差 (mm)	流入管どうしの角度差 (度)
RMC30 (C) -670 (150)	φ150	1	φ150	150-D300	—	—	50~350	90~270	—	—
RMC30 (C) -670 (200) -D300	φ200		φ150	150-D300				90~270		
			φ200	200-D300				105~255		
RMC30 (C) -670 (150)	φ150	2	φ150	150-D300	φ150	150-D300	50~350	90~270	0~250	90以上
RMC30 (C) -670 (200) -D410	φ200		φ150	150-D410	φ150	150-D410		0~295	70以上	
			φ150	150-D410	φ200	200-D410		295~300	—	
			φ200	200-D410	φ200	200-D410		0~300	75以上	
								0~300	80以上	

仕様：日本下水道協会規格品（JSWAS K-10 下水道用レジンコンクリート製マンホール）

- 注）1. 3.0%以上の管勾配の場合、自在管継手を使用すること。  
 2. 流出と流入の管径が違う場合、異径管ソケットを使用すること。  
 3. ヤリトリが発生する場合、ヤリトリ継手を使用すること。  
 4. 岡山市下水道局の承認を得た製品を使用すること。  
 5. 管の面取加工はしないこと。  
 6. 標準底板外径はφ560であるが、設置箇所が軟弱地盤であることが想定される場合、軟弱地盤用（φ750）を使用すること。

整理番号	2-2-250
作成年月日	2015, 02, 01

# 鑄鉄製マンホールふた（小型レジン人孔φ300用） (JSWAS G-4)



呼び	A		B		C		D		E		F	
	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
300	300	±3.1	460	±3.5	110	±2.5	410	±3.5	16 <sup>*注</sup>	±1.5	40 <sup>*注</sup>	±1.8

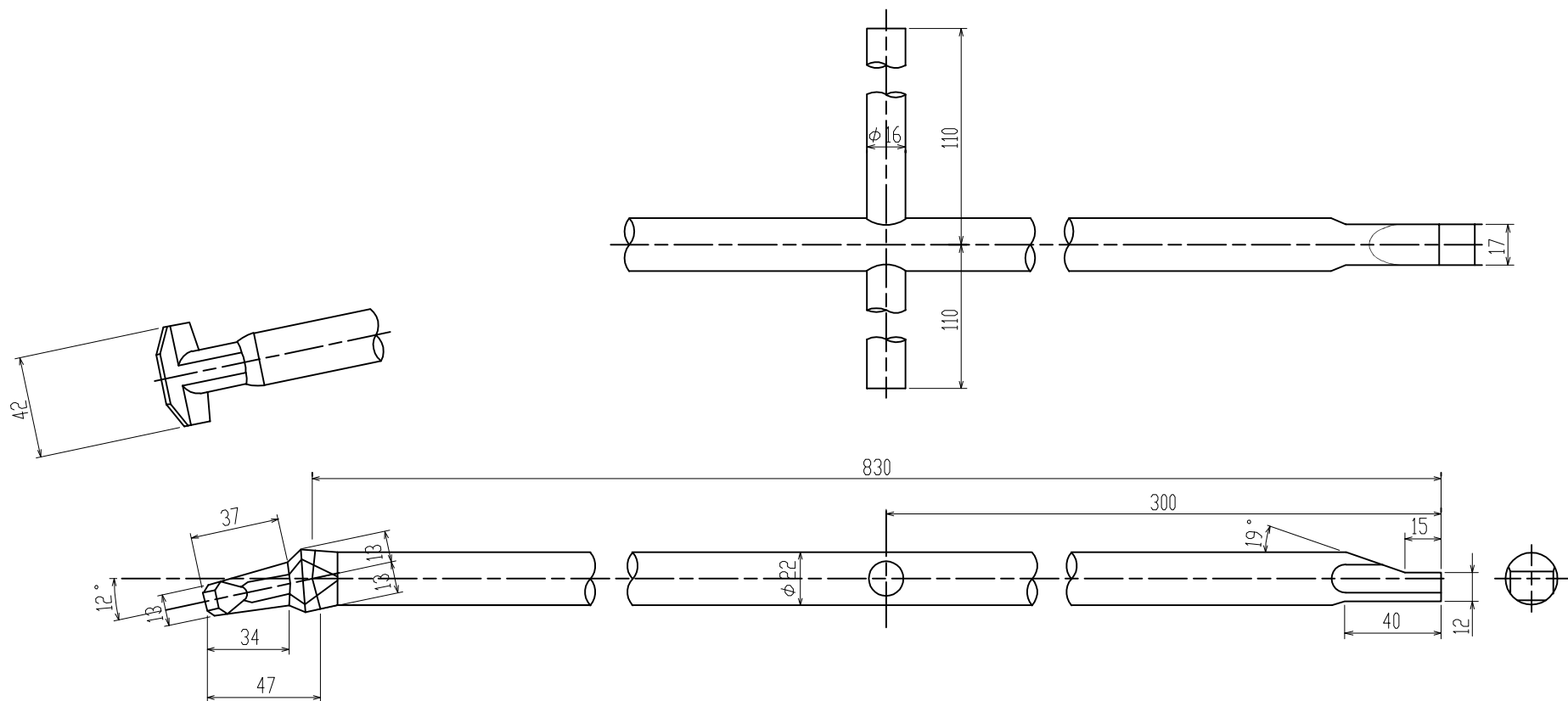
\*注：数値は、標準寸法を示す。

JSWAS G-4 呼び径300 鑄鉄製マンホールふた T25（重荷重用），T14（軽荷重用）

- ・ふた補強リブを設けた場合を示す。
- ・アノカ穴については、6個又は12個とし、等間隔で設ける。
- ・数値は標準寸法を示す。
- ・岡山市仕様の手鍵で開閉可能なロック機能を設定する。
- ・イニシャルは、本市が製造メーカーに指示したものを記載する。

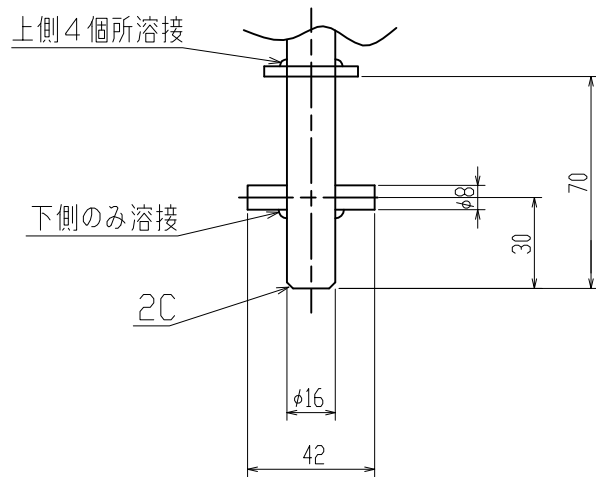
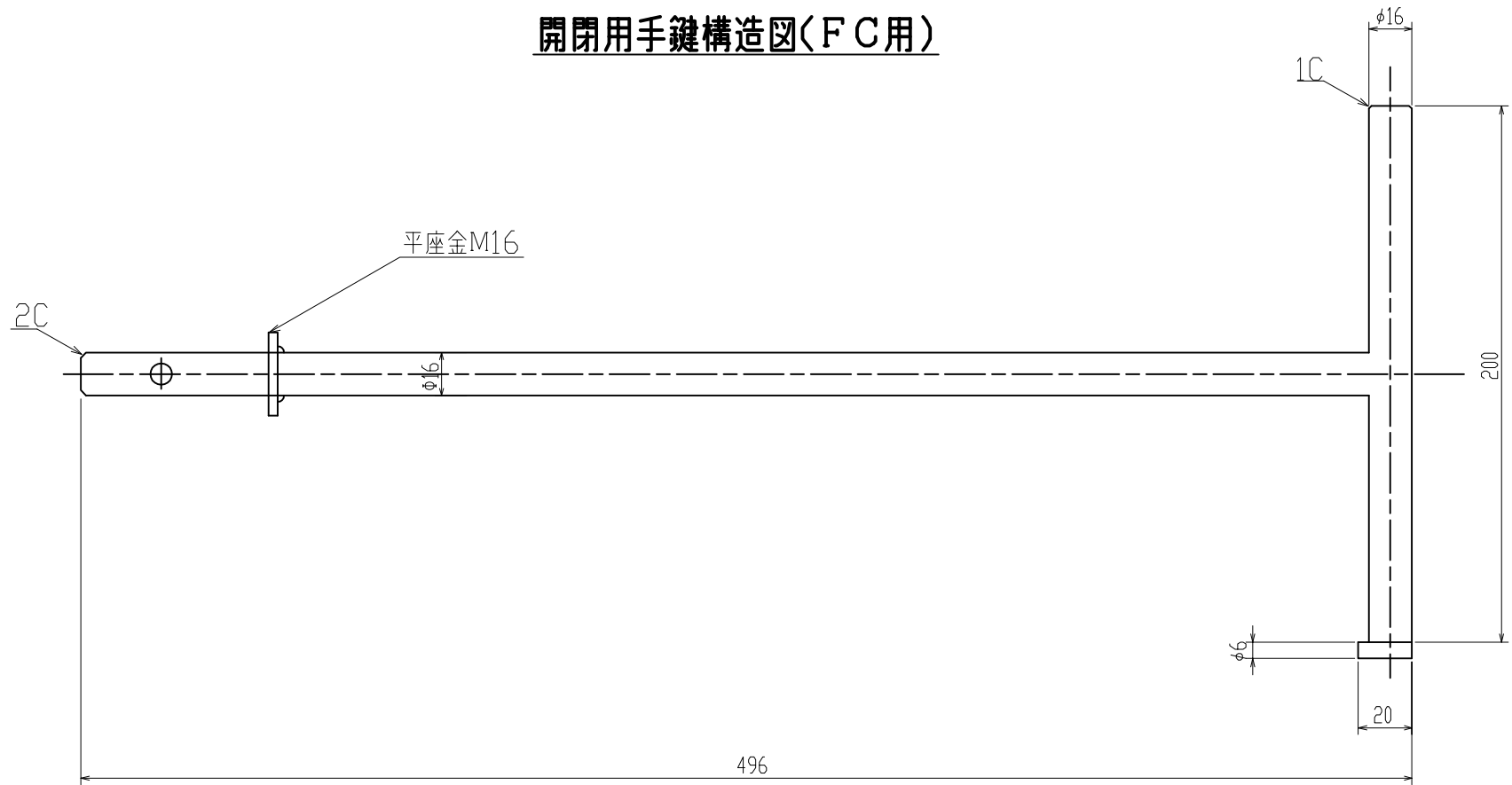
整理番号	2-2-260
作成年月日	2012, 11, 01

# 開閉用手鍵構造図



整理番号	2-2-530
作成年月日	1996, 04, 01

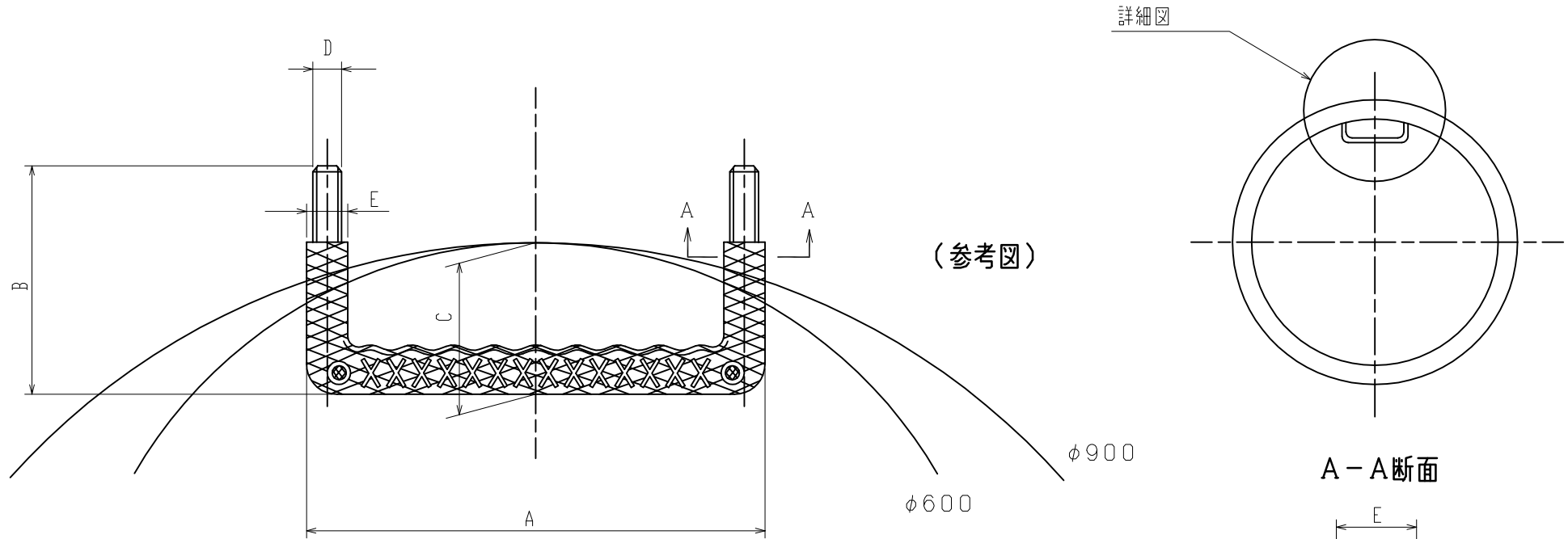
# 開閉用手鍵構造図(FC用)



整理番号	2-2-531
作成年月日	2007, 07, 01

# 足掛金物(5型)

## 組立人孔用



### 人孔足掛金物仕様

- 材質 防錆樹脂被覆加工  
 芯材 JIS G4303-SUS403  
 樹脂被覆加工4mm以上を原則とする
- 取付方法 先付け 型枠同時打ち込みによる固定  
 後付け エポキシ樹脂等による完全固定  
 コンクリート躯体内の金物端部処理に付いては  
 脱落抜け防止(ネジ切り・ボルト止め)加工を施す。

### 3. 足掛金物サイズ・寸法表

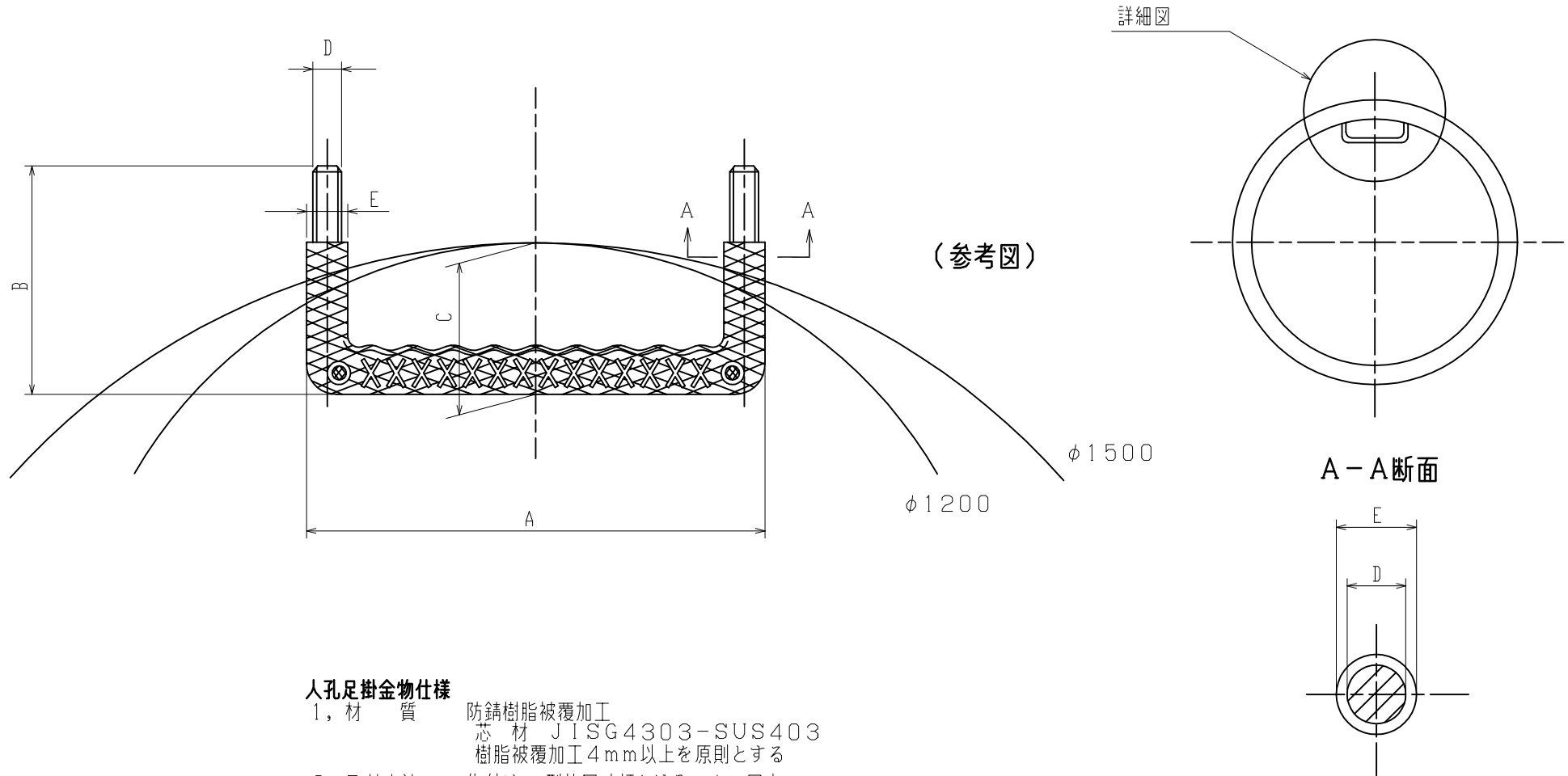
型式	種別	(A) 足掛幅	(B)
1号人孔以下		300以上	150以上

(C)については150mmを基本とする。  
 又、(E)については、各メーカー仕様とする。

整理番号	2-2-540
作成年月日	2011, 10, 01

# 足掛金物(6型)

## 組立人孔用



### 人孔足掛金物仕様

- 材質
  - 防錆樹脂被覆加工
  - 芯材 JIS G4303-SUS403
  - 樹脂被覆加工4mm以上を原則とする
- 取付方法
  - 先付け 型枠同時打ち込みによる固定
  - 後付け エポキシ樹脂等による完全固定
  - コンクリート躯体内の金物端部処理に付いては脱落抜け防止(ネジ切り・ボルト止め)加工を施す。

### 3、足掛金物Jサイズ・寸法表

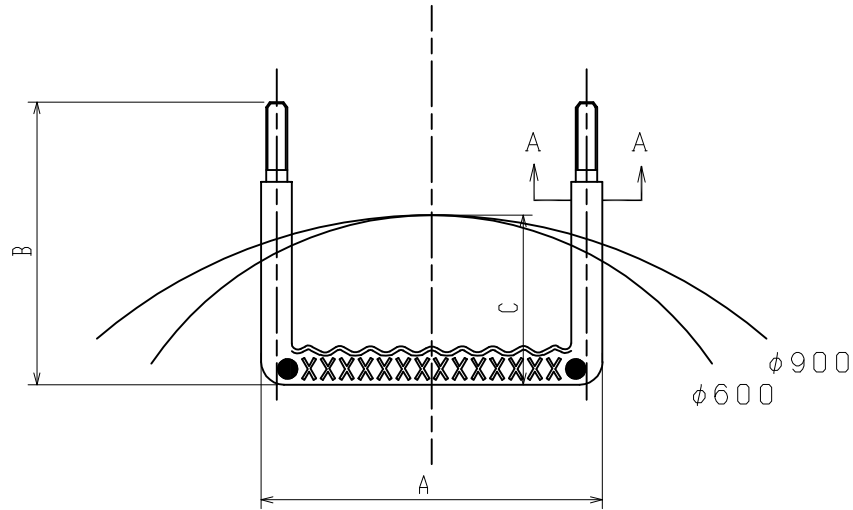
型式	種別	(A) 足掛幅	(B)
2号人孔以上		400以上	170以上

(C)については150mmを基本とする。  
又、(E)については、各メーカー仕様とする。

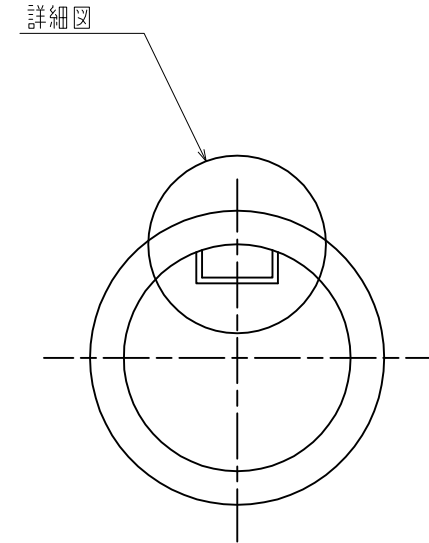
整理番号	2-2-550
作成年月日	2011, 10, 01

# 足掛金物(7型)

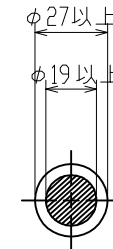
## 現場打人孔用



(参考図)



A-A断面



### 人孔足掛金物仕様

- 材質 防錆樹脂被覆加工  
 芯材 JISG4303-SUS403 φ19mm以上  
 樹脂被覆加工4mm以上を原則とする
- 取付方法 先付け 型枠同時打ち込みによる固定  
 後付け エポキシ樹脂等による完全固定  
 コンクリート 躯体内の金物端部処理に付いては  
 脱落抜け防止(ネジ切り・ボルト止め)加工を施す。

### 3. 足掛金物サイズ・寸法表

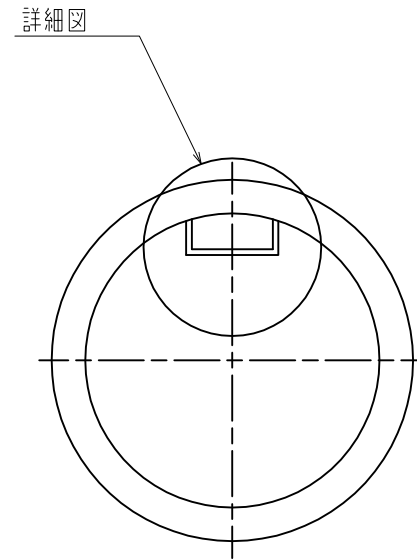
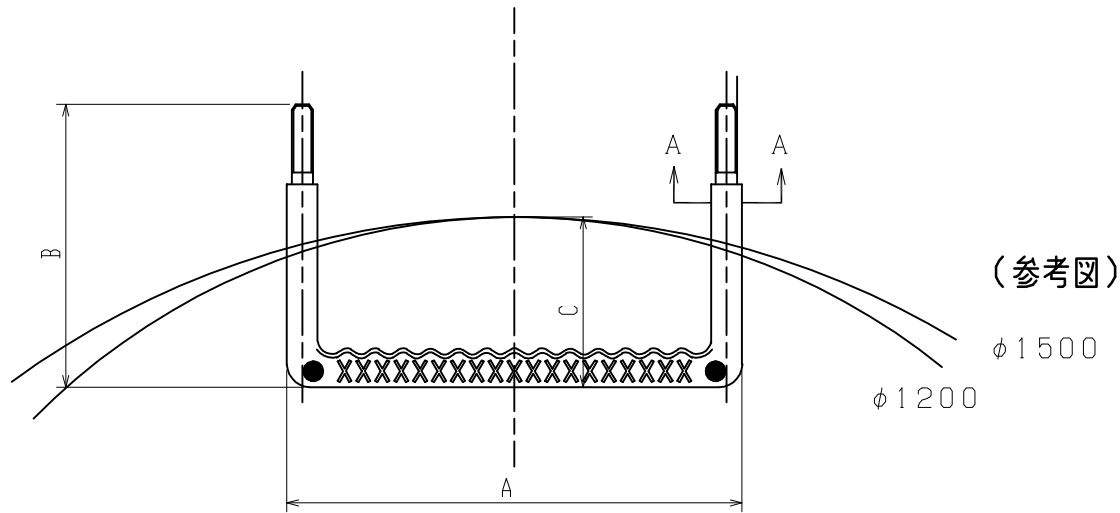
型式 \ 種別	(A) 足掛幅	(B)	(C)
1号人孔以下	300以上	250以上	150

整理番号	2-2-560
作成年月日	1996, 04, 01

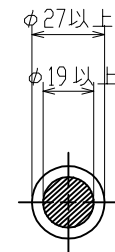


# 足掛金物(8型)

現場打人孔用



A-A断面



## 人孔足掛金物仕様

- 材質 防錆樹脂被覆加工  
 芯材 JIS G4303-SUS403 φ19mm以上  
 樹脂被覆加工4mm以上を原則とする
- 取付方法 先付け 型枠同時打ち込みによる固定  
 後付け エポキシ樹脂等による完全固定  
 コンクリート 躯体内の金物端部処理に付いては  
 脱落抜け防止(ネジ切り・ボルト止め)加工を施す。

## 3, 足掛金物サイズ・寸法表

型式 \ 種別	(A) 足掛幅	(B)	(C)
2号人孔以下	400以上	250以上	150

整理番号 2-2-570

作成年月日 1996, 04, 01

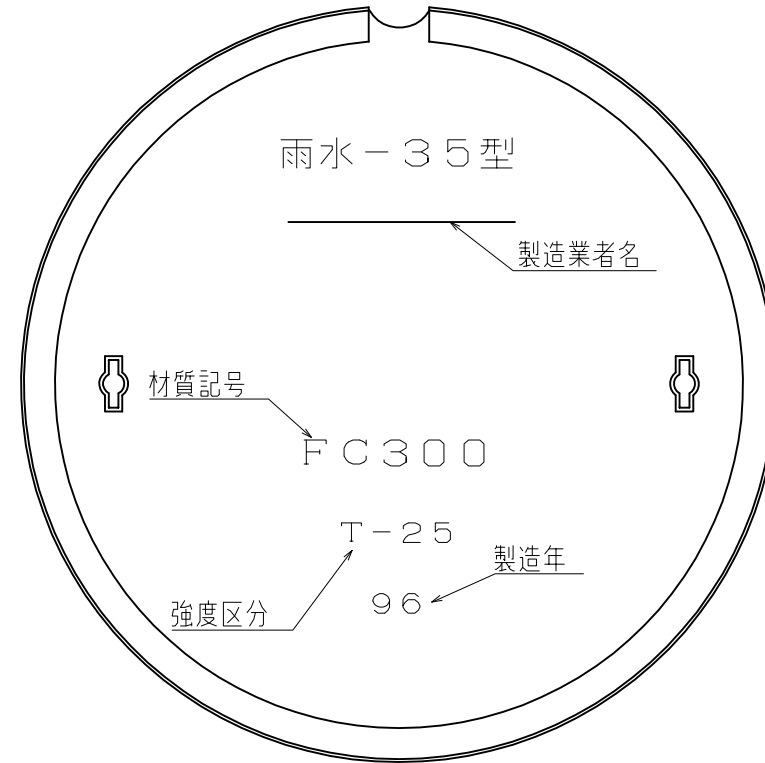
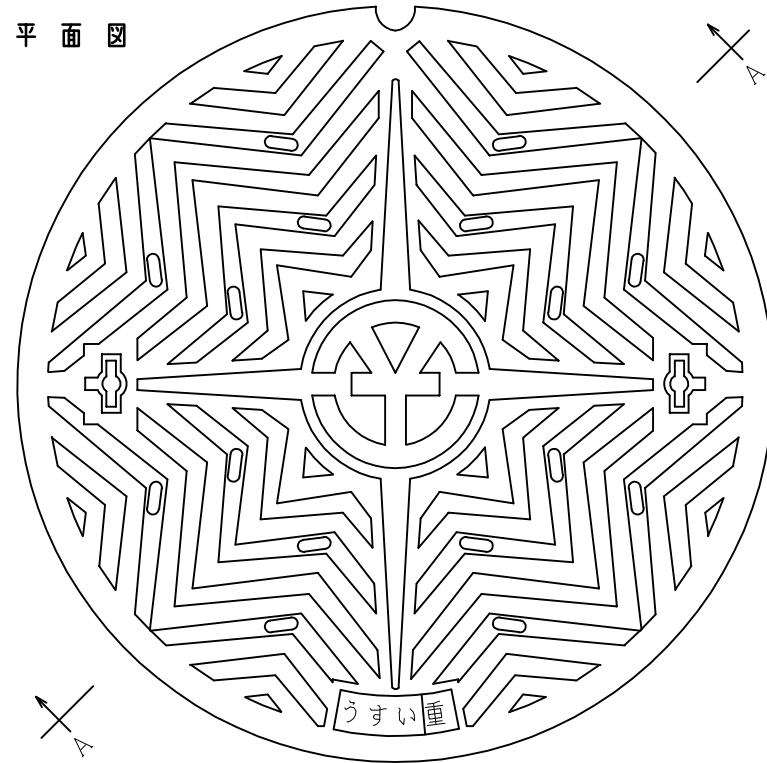




# 人孔鉄蓋 形式 35型 (雨水・重荷重用)

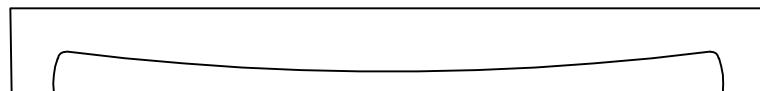
蓋デザイン概要図

蓋裏面種類の記号鑄出配置図



正面図

A-A



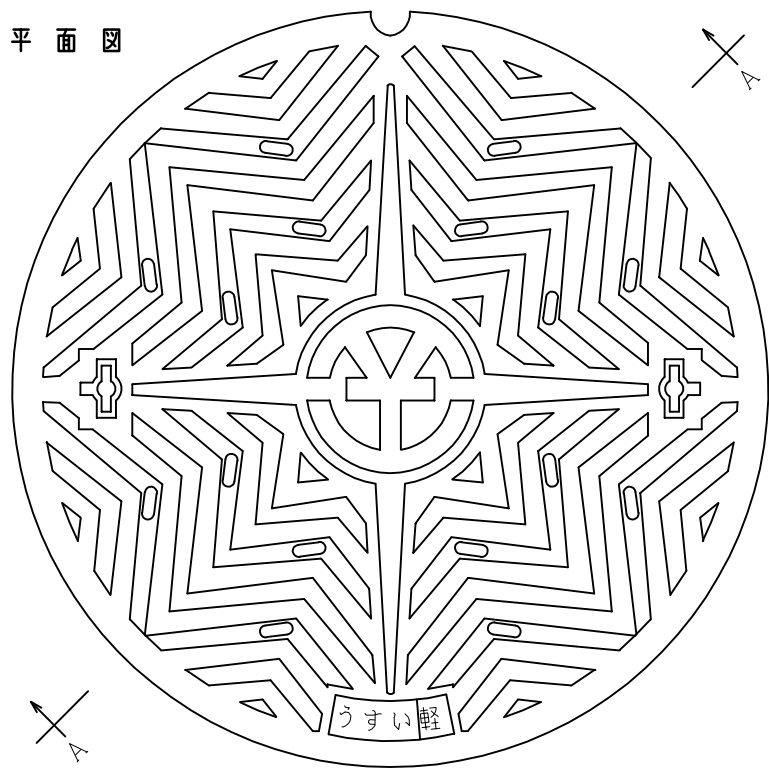
整理番号	2-2-650
作成年月日	1996, 10, 01

# 人孔鉄蓋 形式 36型 (雨水・軽荷重用)

蓋デザイン概要図

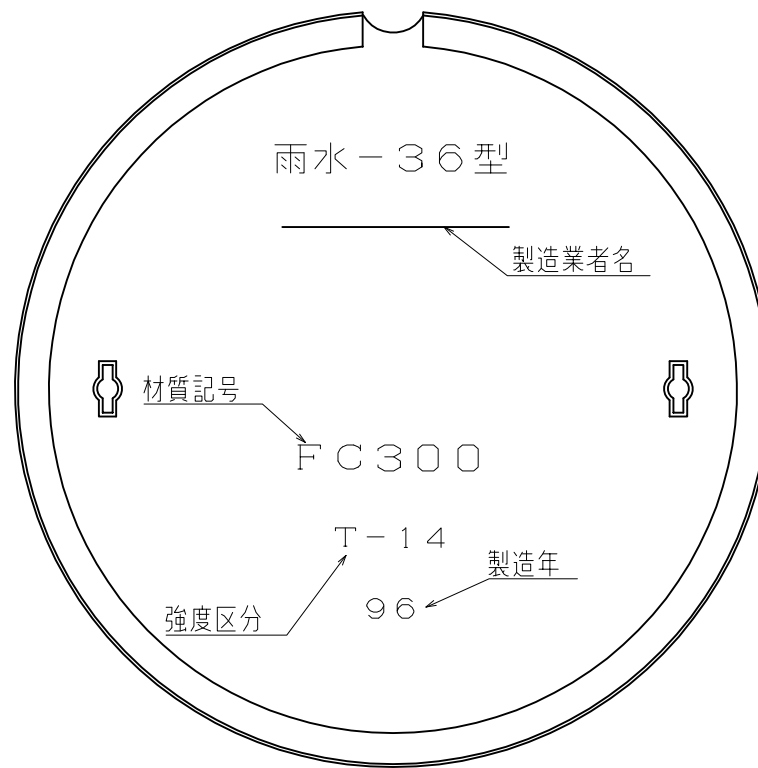
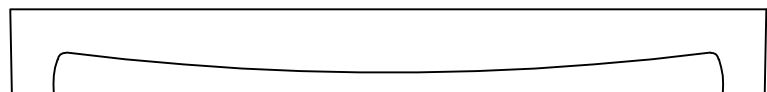
蓋裏面種類の記号鑄出配置図

平面図



正面図

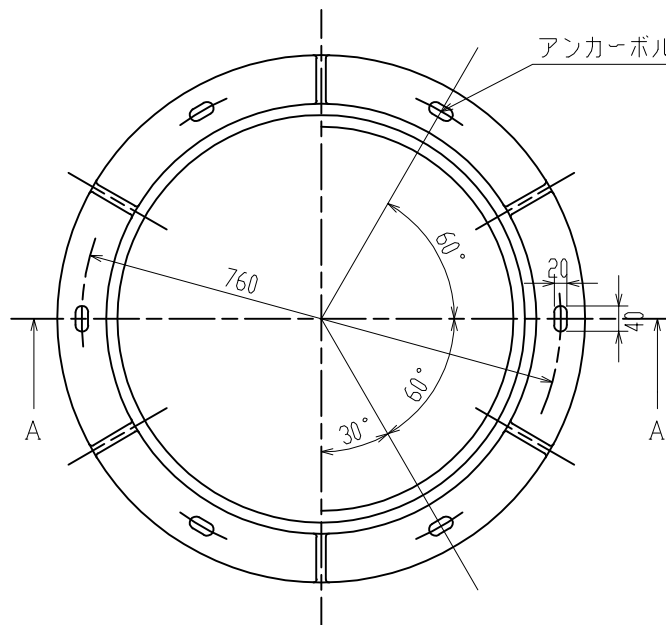
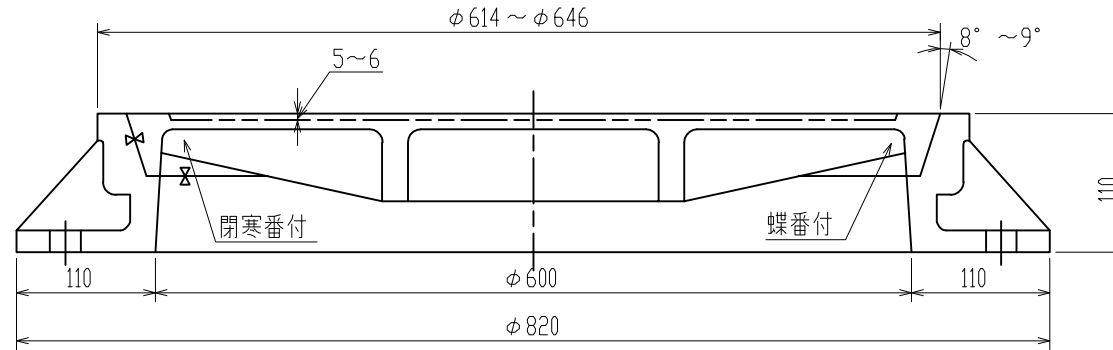
A-A



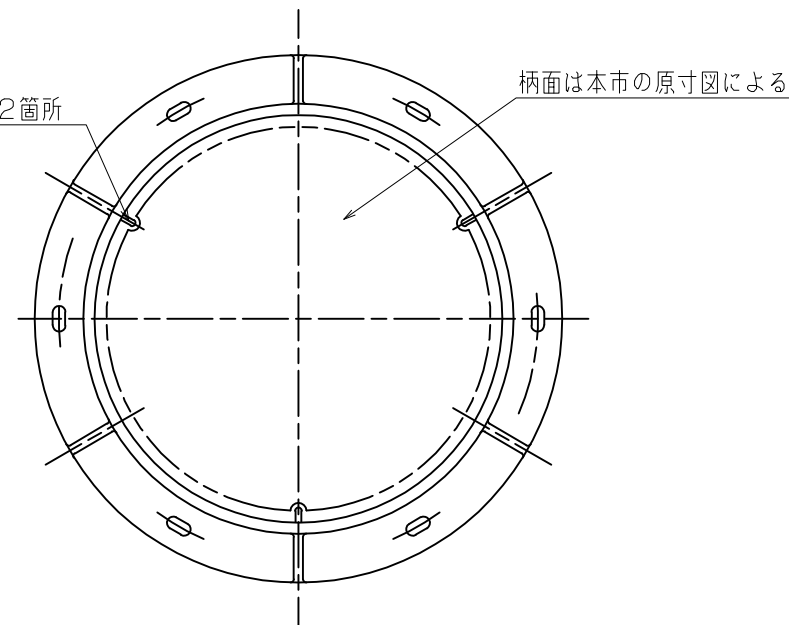
整理番号	2-2-660
作成年月日	1996, 10, 01

# 人孔鉄蓋 形式 37, 38型(雨水) 詳細図

A-A



袋式ボルト穴左右2箇所



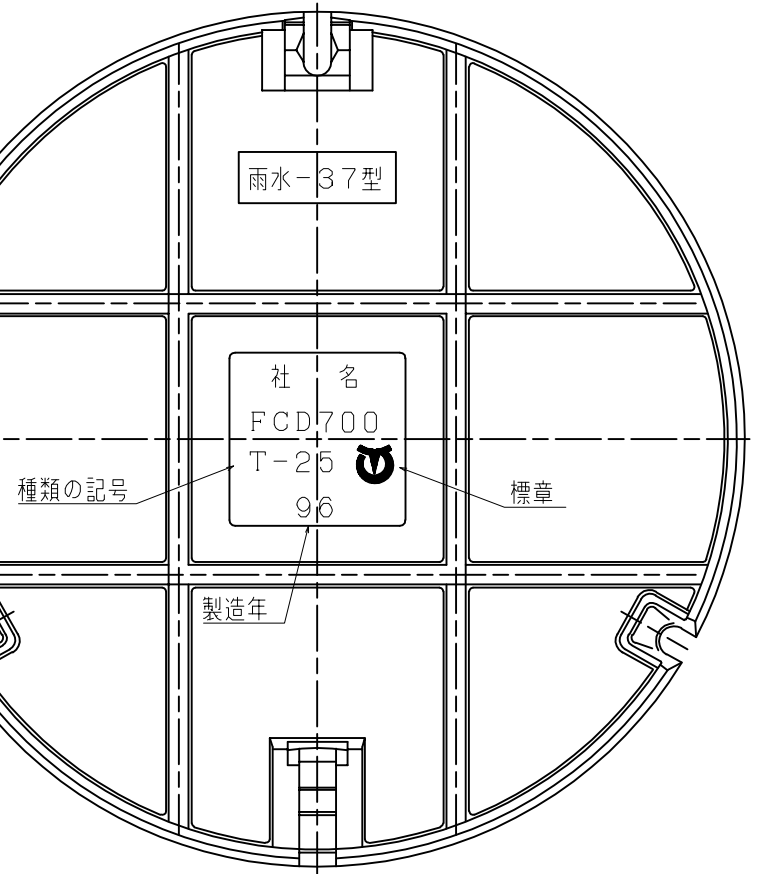
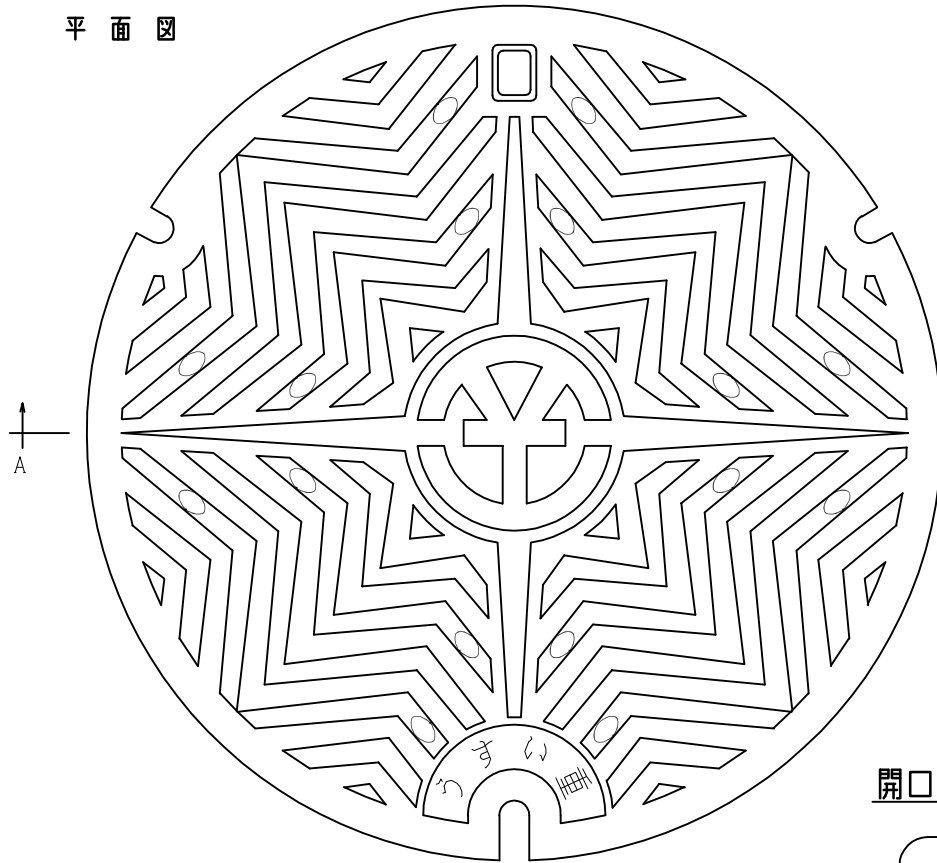
整理番号	2-2-701
作成年月日	2009, 04, 01

# 人孔鉄蓋 形式 37型 (雨水・重荷重用)

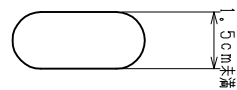
蓋デザイン概要図

蓋裏面種類の記号鑄出配置図

平面図

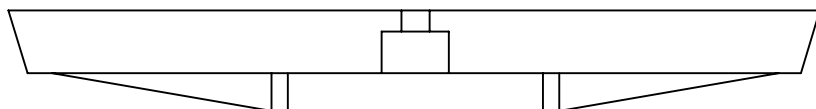


開口部拡大図



正面図

A-A



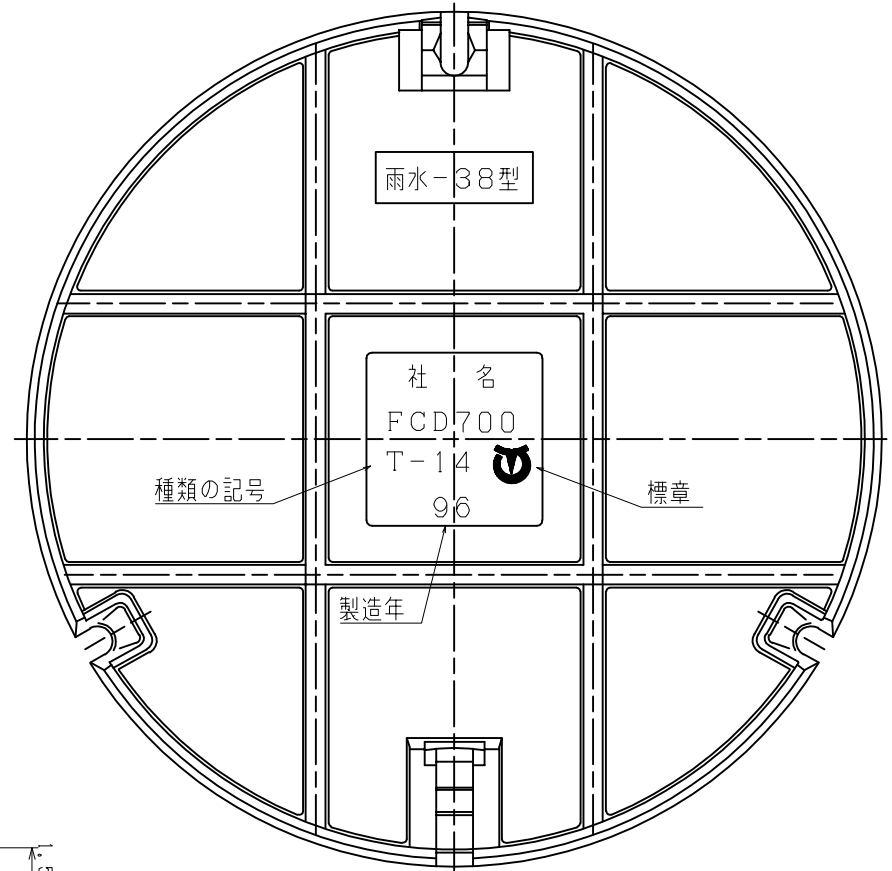
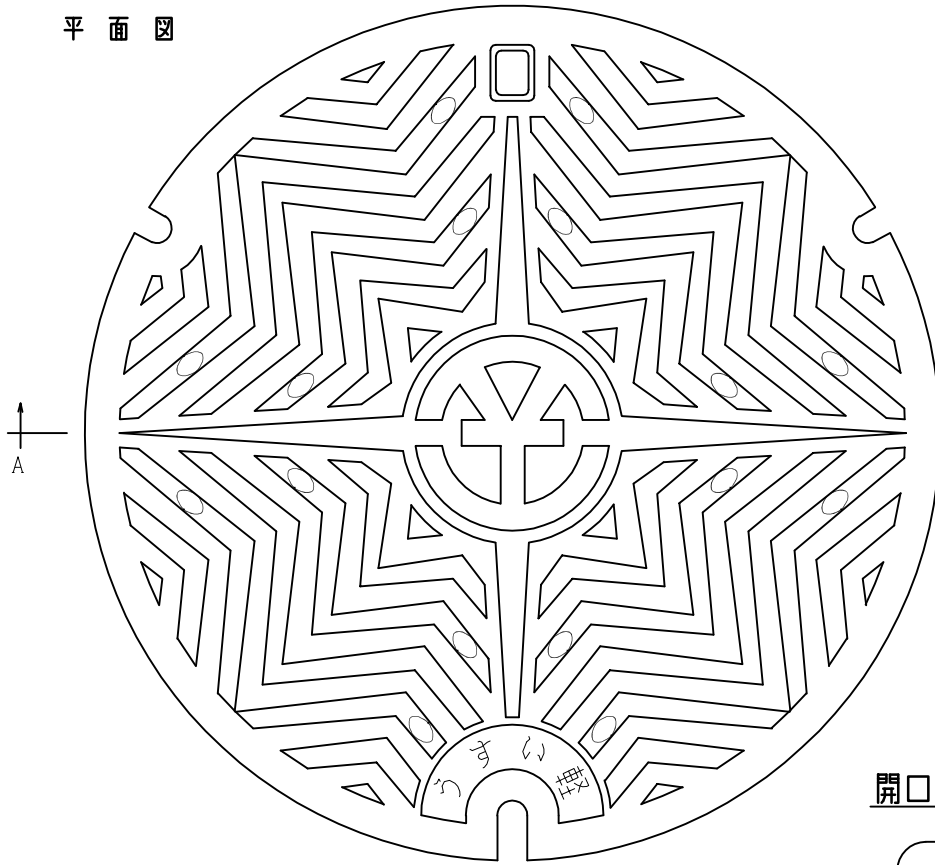
整理番号	2-2-750
作成年月日	1996, 10, 01

# 人孔鉄蓋 形式 38型 (雨水・軽荷重用)

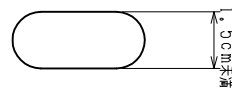
蓋デザイン概要図

蓋裏面種類の記号鑄出配置図

平面図

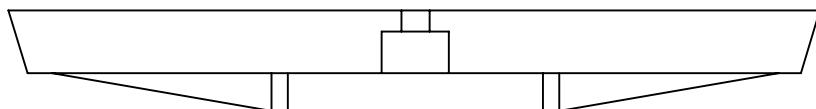


開口部拡大図



正面図

A-A



整理番号	2-2-760
作成年日	1996, 10, 01

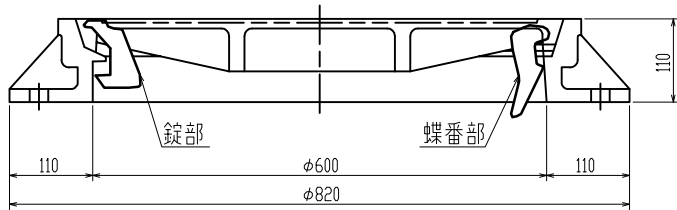


# 人孔鉄蓋 型式 71型 (汚水・重荷重用)

蓋デザイン概要図

下水道協会標章及び種類の記号鑄出配置図

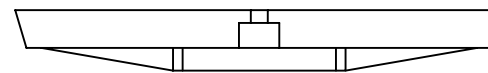
断面図



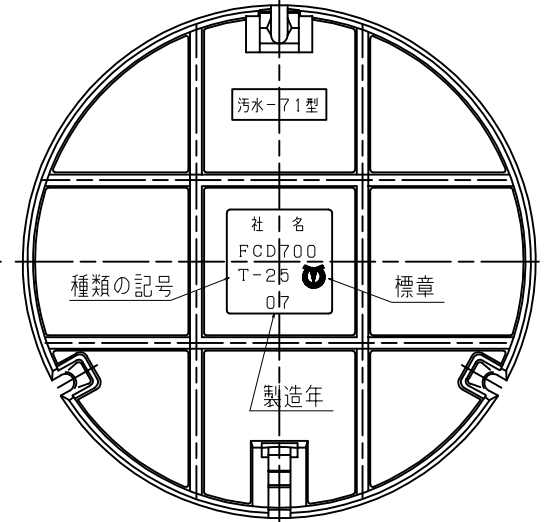
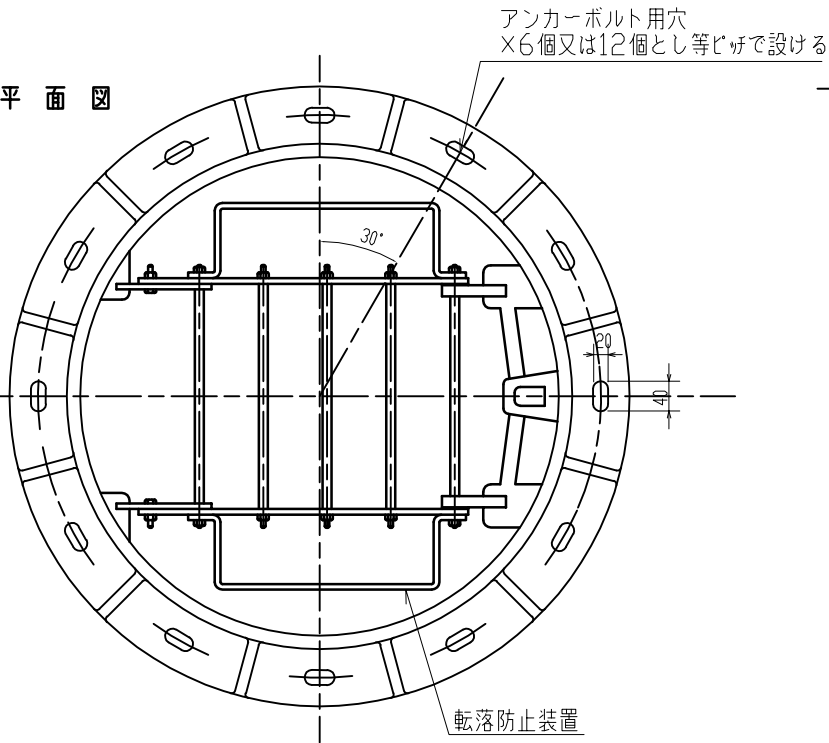
平面図



正面図



平面図



整理番号	2-2-820
作成年日	2007, 07, 01

